

第2章

園での関わりと 家庭で大切にしたいこと (保護者の関わり)

園や家庭での経験は、それぞれがどのようにつながっているのでしょうか。

ここでは、幼児教育において育みたい資質・能力の視点から「園での関わり」と「家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）」を考えてみました。

3歳児と4歳児は、前期、後期に分け、5歳児は小学校1年生の2年間の「架け橋期」のⅠ期、Ⅱ期に分けて、具体的にイメージできるように示しました。

成長の過程は子ども一人ひとりによって様々ですが、大まかなその時期の子どもの姿として記載しています。



フライパンでお料理、楽しいな



双眼鏡をもって、探検に行こう



「いらっしゃいませ」「くださいな」



お気に入りの動物を作ったよ

3 歳児

前期(4月~10月)



自分の世界を広げるとき

自分の思いを出せるのは、そのときの

第2章 園での関わりと
家庭での保護者の関わり


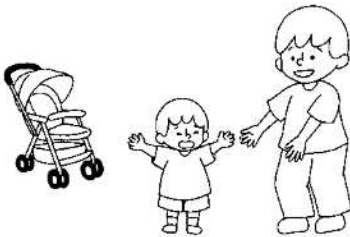
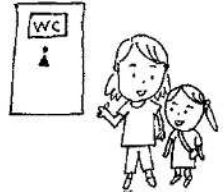

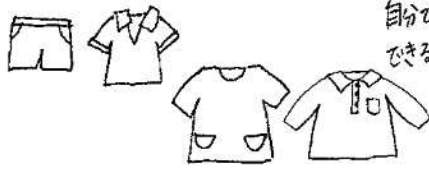
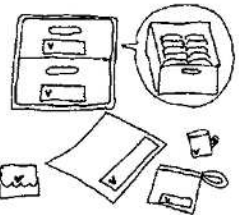

3歳児

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
自分のことは 自分です	情緒	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に慣れるまでは泣くなど不安を示すが、次第に保育者や園に親しみを感じて登園するようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 園での様子と家庭での様子の情報が共有できるようにする。一人ひとりのペースで慣れていけるように見守る。 
	運動	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな体の動きが可能になり体力もつき、体を動かすことが楽しくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 戸外や室内で様々な運動遊びが楽しめる機会をつくる。 走る、ジャンプする、ボールを投げる、起伏のある場で遊ぶなど用具や遊具、遊びの場所を工夫する。
健康で安全な 生活をする	排泄	<ul style="list-style-type: none"> おむつがとれている。 	<ul style="list-style-type: none"> トイレの使い方を知らせる。 時間を決めてトイレに誘ったり、タイミングをみて声を掛けたりしながら自分で排泄ができるようにする。
	食事	<ul style="list-style-type: none"> こぼしながらも、自ら進んで食事をするようになる。 自分なりに箸を使いこなすようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備から片付けまでの手順を知らせ、繰り返し伝える。 箸を使うことに少しずつ慣れるようにする。
体を十分に動かし、進んで運動しようとする	着脱	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の着脱の仕方が分かり、大部分を自分でするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりに必要な手助けをしながら、自分でしようとする姿を見守り、励ます。
	物の始末	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と一緒に片付けをするようになる。 毎日、園に持っていく物が分かるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人マークや遊具の置き場所のイラスト、写真などを活用し、身支度や片付けを自分から行えるようにする。
	手洗い・うがい	<ul style="list-style-type: none"> ブクブクうがい、ガラガラうがいができるようになる。 汚れたときや食事の前は自分から手を洗おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い、うがいは繰り返し声を掛けるとともに、正しいやり方を知らせ、習慣付ける。

ご機嫌しだいの3歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）

<p>わからないことがあったら なんでも先生に聞いて いいんだよ</p>  <p>今日もたくさん 遊んでおいで</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園が楽しい場所であることを家庭で話題にし、期待をもてるようにしていきましょう。 園や先生を信頼し、親子で毎日楽しく通えるようにしましょう。
 <p>歩く気持ちがいいよ！ 一緒に歩こう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> バギー（ベビーカー）を卒業し、<u>歩くことや戸外遊びの機会を多く</u>しましょう。また、階段の昇り降りや、しゃがむなど、生活の中で様々な動きを意識してみましよう。
 <p>一緒にトイレに入るから大丈夫よ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭以外のトイレを利用する機会をつくりましょう。失敗しても叱らず、<u>一人でできているところを認め、自信をもてるようにしてあげ</u>ましょう。
<p>みんなで 食べるとおいしいね</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で食べる意欲を大切にしましょう。 食事中は席を離れない、遊びながら食べないなど、食事のきまりを明確にしましょう。 <u>親子で一緒に楽しい雰囲気</u>で食事をするを大切にしましょう。
 <p>自分でできるかな</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分で扱いやすく、遊びに適した靴や服を用意しましょう。自分で着脱ができた満足感を味わえるように、<u>最初は手を添えてやり方を知らせ、少しずつ自分でできることを増やして</u>いきましょう。
 <p>この場所が 00さんの 場所ね</p>	<ul style="list-style-type: none"> 持ち物にマークを付け分かりやすくするとともに、一人で扱えるかどうか、確認しましょう。 登園に必要な物を置く場所を決めておきましょう。 おもちゃを片付けやすいよう工夫し、<u>片付けてきれいになった気持ちよさを味わえるように</u>しましょう。
<p>帰ってきたら すぐに手洗いうがいをしようね</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 「帰宅したら手洗い、うがい」が身に付くよう、<u>親子で一緒に行い</u>ましょう。 食事の後は「ブクブクうがい」帰宅後は「ガラガラうがい」と、うがいの仕方が違うことを知らせていきましょう。

3 歳児

前期(4月～10月)



自分の世界を広げるとき 自分の思いを出せるのは、そのときの

第2章 園での関わりと
家庭での保護者の関わり

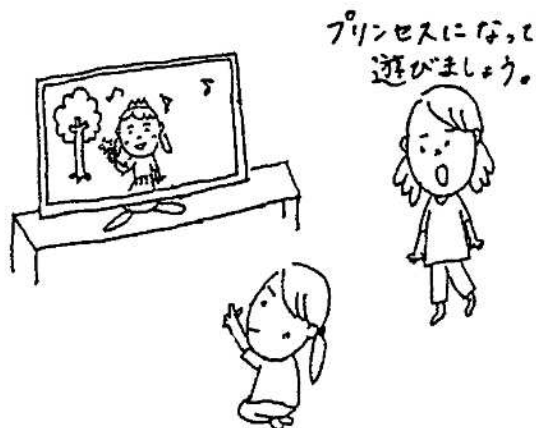
3歳児

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
好奇心や探究心をもって、ものに関わる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある遊び（遊具や場）を見付け、見立てたり、「〇〇のつもり」の遊びをしたりして楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭にあるような遊具を多めに用意し、それぞれが興味のある物で遊ぶことを楽しめるようにする。 保育者も一緒に遊ぶことで遊びの楽しさを感じられるようにする。 幼児が体験したことをその子なりにごっこ遊びに再現したり、人物や動物など何かになりきったりしている姿を受け止め、楽しんでいる世界を受容したり、共感したりする。
	自然との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に興味をもつようになる。 感覚的な遊びを楽しむようになる。  	<ul style="list-style-type: none"> 身近な虫や草花に出会い、見たり触れたりすることを楽しめるように、戸外で遊ぶ機会をつくる。 水や砂の感触や、解放感を味わいながら遊ぶことができるように、砂場に扱いやすい遊具を用意したり、様々な水遊びを取り入れたりする。 
	言葉や数量などの感覚を豊かにする	<ul style="list-style-type: none"> 生活に必要な言葉が分かり、使うようになる。 簡単な色・数・量・形などに興味をもつようになる。 自分なりに思いを表わすようになる。  	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に必要な言葉（「貸して。」「入れて。」「ごめんね。」など）や時間や場所を表す言葉、会話で使う言葉を知らせ、友達とのかかわりが楽しめるようにする。 伝えたい思いを具体的な言葉で代弁したり、思いに寄り添って共感したりしながら、自分の思いの表出を支援する。

ご機嫌しだいの3歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- テレビや動画などの視聴だけではなく、子どもが自分から興味のある遊びにかかわる時間を大切にしましょう。（視聴時間は各家庭で上限を決めるとよいです。）
- 園での様子を聞いたり、興味のあることを話題にしたりして、子どもの興味に寄り添いましょう。
- 物を何かに見立てて遊ぶ姿や、何かになりきって楽しんでいる姿を見守り、温かく受け止めましょう。



- 水遊び、砂遊び、虫探しなど、好奇心を大切にし、自然物に直接触れて遊ぶ機会をつくりましょう。
- 虫を見る、花の香りを楽しむ、砂場で遊ぶなど、諸感覚を使って大人も一緒に様々な感触を楽しみましょう。



- 大人の話す言葉がモデルとなるように意識しましょう。また、遊びの中で「貸して。」「待っていてね。」など、必要な言葉も知らせましょう。
- 絵本の読み聞かせなどをとおして様々な言葉に触れる機会をつくったり、楽しかったことを話したりしながら、言葉のやりとりを楽しみましょう。
- 大人が、子どもの気持ちを切り替えるきっかけを作り、「○○したかったんだね。」など、受容する言葉を掛けながら気持ちに寄り添い、思いの表出を見守りましょう。

3 歳児

前期(4月~10月)



自分の世界を広げるとき
自分の思いを出せるのは、そのときの

第2章 園での関わりと
家庭での保護者の関わり

3歳児

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
あいさつをする	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 「おはよう。」「さようなら。」など、生活に必要なあいさつや返事をするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が率先してあいさつし、あいさつの心地よさを知らせる。
	友達	<ul style="list-style-type: none"> 友達のしていることに興味をもつ。 周りにいる同年齢の幼児に親しみをもつようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学級の友達の名前を知ったり、親しみを感じたりできるよう、みんなと一緒に楽しめる活動を取り入れる。 同じ物を持ったり同じ場で遊んだりできるようにしながら、同じ場で過ごす心地よさを感じられるようにする。 
人と関わる	きまり	<ul style="list-style-type: none"> 片付けの時間になったら遊びを切り上げるなど、場や状況に応じた態度をとることを知る。 集団生活でのルールや安全の約束が分かる。  	<ul style="list-style-type: none"> 生活の流れの中で「片付け」「食事」など、気持ちを切り替えて行動できるように次の活動の投げかけを工夫する。 心の葛藤を受け止め、安心して気持ちの切り替えができるようにし、気持ちの調整ができたときには十分に認め、自信がつくようにする。 遊びの中で順番や物の貸し借りや遊具を大切に扱うことなど、場面に応じて知らせる。 視聴覚教材を使って安全の約束を知らせる。 上の学年の幼児の姿をとおして、集会や行事など様々な場面での望ましい態度を知らせ、「今はこうする」という姿勢が意識できるよう促す。

ご機嫌しだいの3歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 簡単なあいさつや返事など必要な言葉は、**大人が手本となるよう、気持ちのよいあいさつを心がけましょう。**



一人ひとり 好きなことは違う

- 集団の中で「友達と仲良く遊ぶ」ことを求めがちですが一人ひとり好きなことは違うので、友達と違うことをしていても焦らず見守っていきましょう。**まずは一人でも夢中になって遊ぶということが大切です。**
- 保護者同士はもちろん、同じ園に通う子どもたちについても、互いに受け入れ合い、親しみをもって接しましょう。



- 自分で使った物は自分で片付ける、あいさつをして食事をするなど家庭でのルールを決め、決まりや約束を守る習慣を身に付けていきましょう。
- 大人が生活のリズムを整えて「遊び」「片付け」「食事」「就寝」など、活動の切り替えを明確にして促していきましょう。
- 気持ちの切り替えが難しいこともあります。心の葛藤をとおして、気持ちを調整することを学んでいるときだと捉え、**根気よく一人ひとりに合った声の掛け方や取り組み方を探っていきましょう。**
- 遊びの中で大人も一緒に順番を守ったり、公共の物を大切にすることを示したりしていきましょう。安全に利用するための約束を、その都度知らせましょう。
- 乗り物の中や病院では静かにするなど、場に応じた態度をとることを知らせましょう。

3 歳児

後期(11月～3月)



自分の世界を広げるとき

自分の思いを出せるのは、そのときの

第2章 園での関わりと
家庭での保護者の関わり

3歳児

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
自分のことは自分です	情緒	<ul style="list-style-type: none"> 友達や保育者とかかわり、園での生活を楽しくに登園するようになる。 大きくなった喜びや進級への期待感をもつようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんできたことの続きをしたり遊びの世界を広げたりできるよう、興味や関心に応じた遊具を用意する。 4月から新入園児が入ることを知らせたり、4歳児と交流したりし進級の期待感をもてるようにする。また、一緒に遊ぶ・食事をする・散歩に行くなど、4、5歳児と交流し進級の期待感をもてるようにする。
	運動	<ul style="list-style-type: none"> 階段で交互に足を出して昇り降りするなど、体の動きが調整できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや生活をとおして、歩く・走る・跳ぶなど、様々な動きを経験できるようにする。また、鬼ごっこ、音楽に合わせて踊る、遊具を使って遊ぶなど、体を動かす楽しさを知らせる。
健康で安全な生活をする	排泄	<ul style="list-style-type: none"> 自分で排便の始末ができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 排便後の拭き方を知らせ、しっかり拭けているかを確認する。
体を十分に動かし、進んで運動しようとする	食事	<ul style="list-style-type: none"> こぼすことが少なくなり、自分で上手に食事をできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく食べながら、マナーやこぼさず食べることを意識できるようにする。
	着脱	<ul style="list-style-type: none"> 園での生活の仕方が分かり、身の回りのことや遊びの片付けなど、自分からするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分でしようとする姿を認め、コツを教えたり、手を添えたりしてできた喜びが感じられるようにする。 汗をかいたり汚れたりした時は着替えることに気付けるよう声を掛ける。
	物の始末	<ul style="list-style-type: none"> 自分のものが分かり、始末や片付けをしようとする。  	<ul style="list-style-type: none"> 所持品の始末、片付けなどの様子を確認し、必要に応じて関わる。 自分でしようとする姿を認めたり励ましたりし、自分でできた喜びを感じられるようにする。
	手洗いうがい		<ul style="list-style-type: none"> 自分でしようとする姿を見守り、できたときは、大いに褒めて自信がつくようにする。

ご機嫌しだいの3歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）

<p>何して遊んだの? おもしろいね 楽しかった おもしろいね</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園の様子、友達、先生のこと等を話す時間をつくり、園生活が楽しみになるようにしましょう。 上の学年への憧れの気持ちをもてるように、<u>親子で進級を楽しみにしましょう。</u>
<p>公園に行こう やったあ 楽しかった</p>	<ul style="list-style-type: none"> 散歩をしたり、一緒に戸外で遊んだりして、体を動かす楽しさを十分に味わえるようにしましょう。公園で固定遊具を活用するのもよいでしょう。 様々な動きや遊具などに<u>自分でチャレンジしようとしている姿を大切にしましょう。</u>
<p>上手に拭けているか見てみようね 自分でできたね</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分で排便の始末ができるように<u>家庭でも繰り返し伝えていきましょう。</u>
<p>箸を使うの、食べようね</p>	<ul style="list-style-type: none"> フォークやスプーンの持ち方が上手になったら、箸を使い始めましょう。フォークやスプーンと併用し、<u>徐々に慣れていきましょう。</u>
<p>やったあ!、できた!、と思えることが大切</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分でしようとしている姿を認め、少しずつできることを増やしていきましょう。 <u>自分でできるようになったことを褒めましょう。</u> 「上手だね。」「片付けると気持ちいいね。」など、<u>具体的な言葉で認め、意欲を引き出しましょう。</u> 引き続き、後片付けの習慣が身に付くよう、物の種類や大きさなどに合わせ、片付けやすい環境に整えましょう。
<p>できないものやりたくない 頑張っているの、一緒にやろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <u>自分から気付いて行っているときは、たくさん褒めましょう。</u> 一緒に行ったり繰り返し言葉を掛けたりして、習慣付くようにしましょう。

3 歳児

後期(11月～3月)



自分の世界を広げるとき 自分の思いを出せるのは、そのときの

第2章 園での関わりと
家庭での保護者の関わり

3歳児

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
好奇心や探究心をもって、ものと関わる	遊び	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある環境（場・物・人等）に自分から関わり、繰り返し遊びを楽しむようになる。 身近な素材を使って遊ぶことを楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことや興味をもったことに、繰り返し取り組める時間や場を保障する。 遊びの中で“つもり”を楽しめるように、声を掛けたり、遊びに必要な物を作ったりする。 クレヨン、絵の具、粘土など、様々な素材に触れる機会をつくるとともに、活動に応じてハサミやセロハンテープの使い方、安全な扱い方を知らせる。 
	自然との関わり	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然に親しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 草花や木の实、落葉、雪や氷など、自然物を取り入れた遊びができるよう用具を用意し、自然の不思議さや美しさに共感し、一緒に楽しめるようにする。 
文字や数量などの感覚を豊かにする	言葉・文字や数量など	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や紙芝居の話のおもしろさが分かり、イメージをもって楽しむようになる。 動きや言葉で相手に気持ちを伝えようとしてたり、困っていることを表したりするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本や紙芝居などのお話をイメージし、表現遊びやごっこ遊びをする中で、いろいろな表現の方法を知り、楽しさが味わえるようにする。 自分の思いや考えを表現している姿を受け止めていく。 

ご機嫌しだいの3歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 夢中になって遊ぶ中で「楽しい。」「できた。」という気持ちに共感し、繰り返し取り組んでいる姿を温かく見守りましょう。
- 生活の中での様々なこと（掃除・洗濯・食事・買い物など）もごっこ遊びにつながります。家庭でも身近な素材を使って、遊びに使うものを親子で一緒に作りましょう。
- 作品は出来栄を評価するのではなく、子どもなりの表現を大切にしましょう。子どもが楽しんだことや工夫しているところを見付け、「〇〇を作ったのね。」「よく考えたね。」など、親子での会話を楽しみましょう。



- 紅葉や雪、氷等、その時期ならではの自然に触れ、「葉っぱが赤いね。」「冷たいね。」「つるつるしているね。」など、大人も子どもが感じていることに共感したり、一緒に遊んだりしましょう。



- 絵本の読み聞かせは、子どものイメージを豊かにすることや相手の気持ちを考える力を育むことにつながります。継続して機会をつくりましょう。
- 子どもが感じていることや思っていることを言葉にできるように、話をじっくりと聞いて受け止めてあげましょう。「いやだ。」の言葉の背景にある気持ちを推察・代弁し「本当は〇〇したい。」などと言葉にしてあげましょう。

3歳児

後期(11月～3月)



自分の世界を広げるとき 自分の思いを出せるのは、そのときの

第2章 園での関わりと
家庭での保護者の関わり

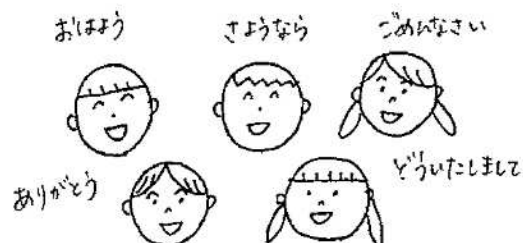
3歳児

資質・能力	項目	園で予想される姿	園での関わり
あいさつをする 人と関わる きまりや約束を守る	あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と一緒にあいさつをするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面に応じたあいさつの仕方を知らせる。
	友達	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友達や、遊びの興味が同じ友達と一緒に遊ぶことを楽しむようになる。 みんなと一緒に過ごす楽しさを感じるようになる。  	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊ぶ友達と同じ動きを楽しんだり、同じ物を持って喜んだりする気持ちに共感する。 保育者や友達と触れ合いがもてるように、簡単なルールのある集団遊びを取り入れ、みんなで遊ぶことが楽しいと感じられるようにする。 友達とのトラブルでは、「嫌だったね。」「使いたかったんだよね。」など、幼児の気持ちを受容する言葉を掛けたり、相手の気持ちにも気付かせたりする。
	きまり	<ul style="list-style-type: none"> 園での生活の仕方やきまりが分かるようになる。 自分の思いどおりにならないこともあることを知る。  	<ul style="list-style-type: none"> 園生活に必要なきまりについて、視覚的に示したり、理由を考えさせたりして、繰り返し伝える。 一緒に遊ぶ中で順番を待つことや交代で使うことを知らせる。 気持ちを受け止め、「こうしたかったんだよね。」と共感したり少し距離を置いたりして関わりながら、気持ちを切り替えられるようにする。

ご機嫌しだいの3歳児



家庭で大切にしたいこと（保護者の関わり）



- 大人がモデルになってあいさつの心地よさを繰り返し知らせましょう。



- 親子でも優しい言葉のやりとりや触れ合いを多くし、人との心地よい関わりを増やしましょう。



- 話を聞く中で、様々な友達の名前が出てくるようになります。友達は楽しい存在という気持ちに共感しましょう。

- 友達と一緒にうれしい時期なので、「友達と一緒にいいね。」「同じだね。」と言葉を掛けたり、温かく見守ったりしましょう。

- 主張が通らないと手が出るなど、友達同士の関わりの中で気になることが出てきます。最初からトラブルを避けるのではなく、関わり方や必要な言葉を繰り返し知らせ、子どもが体験していく中で学んでいくことが大切です。

ごめんね



そうしからなのね



どうして
そうしようと
思ったのかな
うううと
もったいふ

- してよいこと、悪いことがあることをその都度知らせましょう。なぜ、その行動をしたのかを聞き、周囲にどのような影響があるかを伝え、どうすればよかったのかを一緒に考えましょう。

- 順番を待ったり交代で物を使ったりする機会をつくりましょう。「待っていると自分の番がくる」ということを知らせると、安心して待てるようになります。

- 物事を自分でしようとするのは自立への一歩です。子どもの気持ちを汲み取り、見守る方法もあります。